



第33号

2018年5月

市議会だより

発行／喜多方市議会 編集／議会広報編集委員会 〒966-8601 喜多方市字御清水東7244番地2



3月定例会

〔審議された主なもの〕
平成30年度当初予算など

特集	2・3
予算・議案審議	4・5
各委員会の審査	6～8
一般質問	9～20
請願・陳情の審査	21
審議結果	22
議会の動き・お知らせ	23
表紙の写真	24

かわいい春を見つけたよ

おじゃまします 市議会です

フレ～！
フレ～！

新社会人

特

集

新年度も5月に入り、新社会人の皆さんも新しい生活に慣れてきたころでしょうか。市議会では、この春、新たなスタートをきった若葉のような新社会人の皆さんの職場におじゃましてお話をうかがいました。

この職業を目指したきっかけは？

—小さい頃からの夢でした。保育園の時の先生が素敵で憧れでした。中学校の職場体験や高校生の時のボランティア活動で保育園に通い、保育士になるうと決めていました。

新社会人としての意気込みをどうぞ。

—一日も早く保護者の皆さんとコミュニケーションをとれるようになって、子ども達が保育園でより楽しい時間を過ごせるようにしたいです。

市や議会に望むことは？

—就職を機に自立して生活するために、一人暮らしを決め、もうすぐ喜多方市に引っ越すのですが、市内の公園に幅広い年齢の子ども達が遊べるような遊具があるといいと思います。子どもだけでなく、お年寄りの皆さんともふれあえるような工夫のある公園整備をお願いします。



佐竹 莉奈さん 20歳
保育士・
社会福祉法人啓和会
塩川のびやか保育園勤務
(会津若松市)



この職業を目指したきっかけは？

—小さな頃から福祉に関心があり、福祉を学ぶ大学に進学しました。勉強する中で改めて福祉の職業に就きたいとの思いを強めました。現在、高齢者の皆さんの介助をさせていただいておりますが、日々楽しくさせていただいております。

新社会人としての意気込みをどうぞ。

—困ったときに何気なく「五十嵐に相談したいな」と思ってもらえるような相談員になりたいと思っています。多方面の仕事を学んで広い分野で活動できるようにしたいと思っています。

市や議会に望むことは？

—進学で転出した同級生のほとんどは、残念ながら帰郷せず就職しています。転出した人が喜多方に戻って就職したいと思えるような雇用環境や生活環境の整備を進めて欲しいと思います。



五十嵐 聡さん 23歳
生活相談員・
社会福祉法人
喜多方市社会福祉協議会勤務
(塩川地区/6区)





田中虎太郎さん 20歳
(喜多方地区/村松一区)
准看護師・
医療法人 昨雲会
飯塚病院勤務

この職業を目指したきっかけは？

— 高校2年の冬、野球部での活躍を見てくださっていた当院の看護部長から、勉強して看護師になることを勧められました。高校3年の夏、部活動を引退した後、看護師を目指すことを決め喜多方准看護高等専修学校に進学しました。

新社会人としての意気込みをどうぞ。

— 精神科に配属されていますが、専門性を高め精神科の認定看護師を目指したいと考えています。患者さん一人ひとりに時間をかけて関わられるような、余裕のある看護師になりたいと思っています。

市や議会に望むことは？

— 看護師を育てる環境を整えれば、なり手不足も緩和されると思うので、喜多方准看護高等専修学校の施設整備の充実と、正看護師まで資格をとれる仕組みづくりをお願いします。



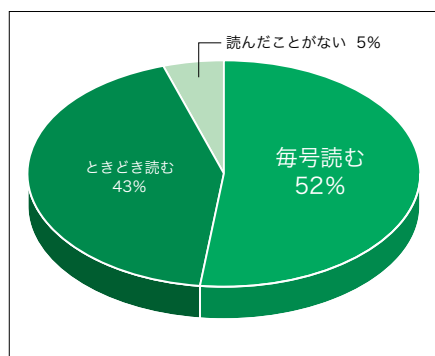
地元就職し、地域を支えてくれる若いエネルギーは、私たちの宝であり希望そのものです。市議会はずべての新社会人の皆さんにエールをおくります。一緒に、ふるさと喜多方を創ってまいりましょう。

議会広報に関するアンケート調査を実施しました

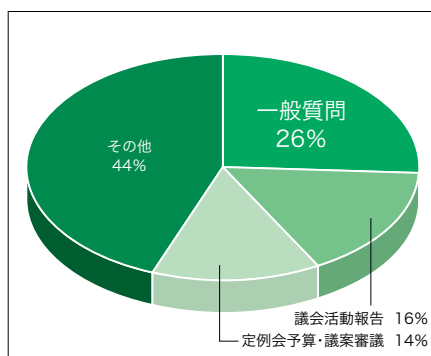
平成30年3月1日(木)～3月20日(火)まで本庁舎・各総合支所・市議会ホームページにおいてサンプル調査を実施し、市内外から402件の回答をいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。(詳しくは喜多方市議会ホームページをご覧ください。検索キーワードは)

議会広報に関するアンケート調査集計結果(抜粋)

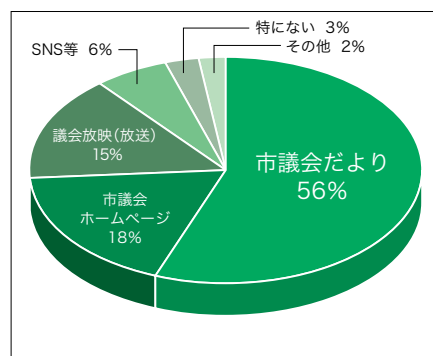
市議会だよりを
読んだことがありますか



どのような記事に
感心がありますか



議会情報の広報手段として、どの
ような方法が良いと思いますか。



ご意見の一部をご紹介します。

- ・市議会だよりでは、市民が紙面に登場するような企画をお願いしたい。
- ・高齢者も読みやすい文字の大きさを工夫してください。
- ・すでに周知の情報ではなくて、議会の視点で深く掘り下げた内容のものが良い。
- ・各議員の討議の内容をもう少し詳しく載せてもらいたい。
- ・広い世代に議会というものを知って欲しいと思うので、SNS等も手段として使っていただければと思う。
- ・今後も喜多方の動きがわかる議会報を楽しみにしています。

平成30年度当初予算決まる！！

一般
会計

243億1,900万円

3月
定例会

平成30年第3回3月定例会は3月1日から20日までの20日間の会期で開催されました。

市長提案により、報告1件、人事案件6件、平成30年度予算案13件、平成29年度補正予算案11件、条例案29件、その他の議案4件と、議会案4件が提出され、すべて同意・可決されました。

平成30年度 当初予算

一般会計	243億1,900万 円
特別会計	136億8,669万4千円
水道事業会計	収入 16億 103万5千円
	支出 20億7,891万4千円

平成30年度当初予算の主な事業

保育所等整備補助金事業



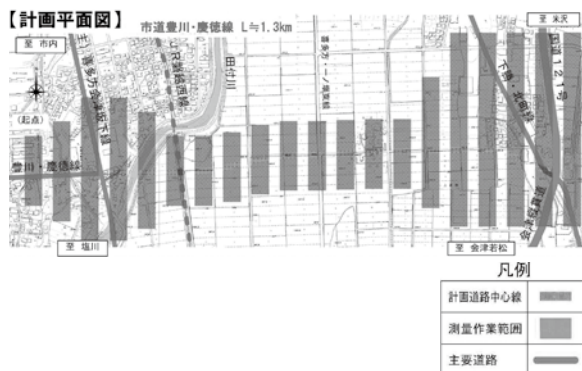
平成31年度に開所予定(定員60名の施設2箇所)の
保育施設の建設に関する補助
[事業費] 2億4,023万円

塩川小学校普通教室増設工事事業



児童の増加が見込まれる塩川小の共有スペースから
普通教室への改修工事
[事業費] 2,500万円

豊川・慶徳線道路整備事業



会津縦貫北道路・喜多方IC 付近豊川地区へのアクセス
道路の整備測量設計ほか
[事業費] 2億1,005万4千円

障がい者相談支援事業



障害者総合支援法の改正に伴い、今年度4月から障がい者への相談事業を拡大
[事業費] 1,469万円

議案審議

若者定住促進事業補助金 土地購入要件外れる

問 「住むなら喜多方！」若者定住促進事業補助金の土地購入要件が外れたということだが、積算は。

答 平成30年度以降、市民の場合、土地を取得しない方についても補助対象とする。補助案件の増加を見込み、その分市民の補助単価を20万円から10万円に引き下げる。なお、転入者は変更しない。実施に際しては周知期間を十分に設け、10月1日以降工事完了検査したものに新制度を適用する。それ以前の案件は従前通りとする。

積算は、9月まで市民、夫婦と子供1.5人分で70万円、これが23件で1610万円。10月からは35万円になり、46件で1610万円。転入者は、夫婦と子供1人世帯で220万円、4件で880万円。合計4100万円である。

問

これまで建築場所に偏りが見られたが、要件緩和により、どのような効果が考えられるか。

答 既存住宅の建て替えも対象となり、多世帯同居が図られたり、中心市街地への集中ではなく、親の近くに住むとか、土地をもらって住めるという効果も期待している。

会津地域森林資源活用事業 のコンビナートはぶどうか？

問

会津地域13市町村による森林プロジェクトの拠点となるサテライトの候補地を3月末までに挙げると聞いているが、その調査検討はどの様になっているのか。

答 現在の計画では平成29年度末までに一定の条件を確保できる候補地を挙げる事になっている。しかし、それは情報の提供であって買収にかかる訳ではなく関連の予算は平成29年度当初予算には計上されていない。

問

この事業は本市が中心になつて進めており、早い段階で手を挙げるべきと思う。新市長のもとで事務局機能もしっかり整えて予算立てをすべきであるがどう。

答 関連の予算は4月の補正予算に計上したいと考えており、候補地にも手を挙げる予定である。



▲常陸大宮市の貯木場

臨時議会が開催されました

平成30年第1回臨時議会が1月18日に、第2回臨時議会が2月22日に、第4回臨時議会が3月26日にそれぞれ1日の会期で開催され、平成29年度一般会計補正予算などが審議され、早期降雪による雪害に対する復旧予算や、不足が見込まれる除雪経費予算などが決定しました。



3月9日



3月12日

(すべての記事と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください)
※QRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取るとオンデマンド配信でご覧いただけます。

常任委員会の審査

3月14・15日に各委員会に付託された案件の審査が行われました。平成30年度当初予算についての主な質疑応答をご報告します。

総務常任委員会

V-LOW戸別受信機 配布始まる

問 V-LOWの概要は。

答 V-LOWの全体像は、マルチメディア放送という新しい放送が制度化されており、テレビの地上放送がデジタル化した際に、VHFの1から3のチャンネル部分で「VHFの低い」という意味で「V-LOWマルチメディア放送」という名称になっている。

本放送は常時流れており、そこに上乗せして情報を送るため、本市の情報を優先して受けることができるような設定をした受信機だけが市からの情報を受信できる。緊急時には電源が入っていない状況でも自動起動し受信ができる設定になっている。

戸別受信機の市民への配布スケジュールは。

問

答 喜多方・塩川地区で説明会を開催し、その場で配布するということを基本に考えている。説明会に参加できない方については、いくつかの行政区を集めて、3回程度の説明会を開催し、いずれかに参加いただく事で考えている。

予算は約2億4000万円 で何台配布予定か。

問

答 1台当たり約1万5000円で台数は1万6000台の整備を予定している。

事業者への戸別受信機の配布は考えているのか。

問

戸別受信機に係る個人負担はあるのか。

問



▲V-LOW 戸別受信機

なぜ、ふるさと寄附金が減ったのか

問 寄附金が対前年と比較して1000万円ほど減少しているが、どの様に考えているか。

答 平成30年度予算は2880万円である。

国より、高価で財産になるようなものを記念品にしない、また、寄附金額を通常の30%以内に抑えるように通知されている。

各自治体でも品物の価格を下げているという状況で

米・食味分析鑑定コンクールの受賞米など評価を受けた本市の米を記念品に加えていく考えはないか。

問

答 記念品については、喜多方観光物産協会等において募集をかけている。米については、受賞したものでないが喜多方産コシヒカリが記念品の中に入っている。受賞米については、生産者と協議していきたいと考えてる。



▲記念品パンフレット

採決の結果、全議案について原案のとおり承認

文教厚生常任委員会

さらなるきめ細かい支援を

問

障がい者福祉支援経費が増えているが、増えた理由と障がい者の傾向は。

答

障がい者の相談支援事業できめ細かい相談を行うようになり、今まで以上にサービスに結び付けられるよう取り組んだため。身体障がいには微増、精神障がいにはほぼ横ばい、知的障がいは増加傾向となっている。

問

ケアの体制が良くなり、支援が拡充され障がい者への対策経費が増加しているのか。

答

特に、知的障がい者への就労支援事業が増えている。



▲障がい者就労支援

この回数でいいのか審議会

問

小中学校適正規模適正配置審議会が2回分の予算だが回数が少ないのではないのか。

答

地域や保護者の皆様のご意見を頂きながら丁寧に行っていくので、審議会としては2回の予定である。最短期間で平成30年度に原案の検討、平成31年度で原案の決定のスケジュールである。

問

2回では十分な審議が深まらないと懸念している。平成30年度も各地区での意見聴取を再度実施することを考慮した回数か。

答

現段階では地域等での聴取の回数は決めていないが、今後、地域や保護者の方々の意見を踏まえ検討する。

低調な個人番号カード
交付率を高める対策とは

問

個人番号カードを交付・登録された現状の率は。

答

2月末現在、4437件の申請があり、申請率は9・13%である。

問

交付率を高めるために啓発活動や目標値は。

答

2月1日のコンビニ交付の開始に合わせて広報やポスターなどでPRしている。平成30年度からは、プリンターを設置しマイナンバー用の写真を市役所窓口で撮って無料サービスで渡す。

また目標としては、9月末までに10%を超えたいと考えている。



▲相談できる窓口

委員会で意見分かれる
どう進める！

条例議案（議案第61号）

喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会設置条例

反対討論

少子高齢化が進む本市において、小中学校の適正規模あるいは適正配置の審議をすること自体には反対しないが、審議会の委員構成に地元住民の意見が反映される保証がないので反対する。

賛成討論

複式学級の解消や、本市の子供たちが育つためにしっかりとした集団生活の中で切磋琢磨し学力向上も合わせて持つためには、早期に審議会を設置してスケジュール通りの適正規模適正配置を進めるべきと考え賛成する。

（反対3・賛成5 結果承認）

採決の結果、全議案について原案のとおり承認

産業建設常任委員会

立地適正化計画案策定は
どのように行われるか

問

地域住民の意向をどのよう
に取り入れていくのか。

答

ワークシヨップ形式で住民の方の意見をまとめた
い。

立地計画そのものは都市
計画区域内の誘導地域を定
める内容になっている。た
だ、喜多方市はそれだけで
はなく、コンパクト・プラ
ス・ネットワークの考えの
もと、周辺地域のことも考
慮しながら計画を策定して
いく。

※立地適正化計画は、居住機
能や医療・福祉・商業、公共
交通等のさまざまな都市機能
の誘導により、都市全域を見
渡した市町村マスタープラン
の高度化版。

高区ポンプ場はなぜ必要か

問

高区ポンプとは。

答

杉山、平沢地区について
は、既存の水道管から直接
水を送るには圧力がないた
め、ポンプで圧送する。

高区ポンプ、低区ポン
と2力所で、配水池まで圧
送するような構造になって
いる。低区ポンプは、杉山
集落の手前にあり、高区ポ
ンプは、平沢集落の入口に
最適な場所があり、平成29
年度に地権者の方に了解を
いただいた。平成30年度は
用地の取得を予定してい
る。



▲高区ポンプの例

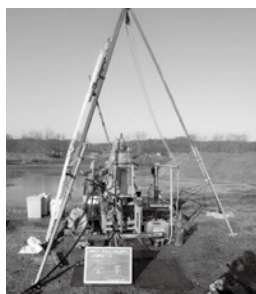
喜多方綾金工業団地での地
下水揚水の地区への影響は

問

調査はいつ実施するの
か。また、地元住民への説
明はどのようにするのか。

答

工業団地のセールスポイ
ントの一つが、良質で豊富
な水である。平成28年度の
ボーリング調査では最大で
毎分900ℓ、1280㎡の地
下水の取水が可能であると
の確認ができた。今回は団
地周辺にある井戸、農業用
の井戸や、湧水等について
最大で50力所、場所の調査
も含めて調査を実施する。
所有者がある井戸である
ので、理解をいただくため
に関係行政区、所有者への
説明をした上で、協力して
いただく。



▲地下水調査事業

委員会で意見分かれる

一般会計予算の審議

反対討論

今回の予算は昨年度
に匹敵する予算額で、今後、政
策的な子育て支援や学校給食費
の負担軽減などに取り組んでい
くということであるが、市民が
切実に願っている事業を実施す
るための予算の財源については
不明である。市民の要望に比べ
た予算になっていないというこ
とで、反対する。

賛成討論

今回は骨格的予算
で、前年度比で13億6200万
円減の予算が計上されている
が、V・I・L・O・W災害情報連携シ
ステムの予算や保育所運営の予
算、また道路橋梁整備等の予算
など、市民生活に必要不可欠な
予算が含まれている。なお、新
市長の政策的予算は今後の補正
予算で示されるということなの
で、賛成する。

(反対1・賛成5 結果承認)

採決の結果、全議案につ
いて原案のとおり承認

喜多方市政のココが知りたい！

一 般 質 問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

3月定例会の一般質問は3月5日から8日までの4日間行われ、23名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。
(文面は各議員の自己編集とし、要約して掲載しております。)



開会中はインターネット中継を配信しています。
過去の配信映像もオンデマンド配信で視聴できます。

※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

市長の政治姿勢と公約を問う

答

全ての重い投票を尊重しながら、オール市民で希望のある夢のある喜多

問

本当にオール市民の体制がつくられていくのか、具体的に示せ。

政策の実現に向けては、オール市民、すなわち、すべての市民の力を結集するということが大切であり、市民との対話を重視し、市民一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾けることが大事であると考えます。「わくわく市政ふれあいトーク」の実施や懇談会など様々な機会を通してすべての市民の力を結集できるように進めてまいります。

答

喜多方市長選挙の総括として、1万票を超える批判票があったが、オール市民の体制はどの様に構築していくのか。

問



山口 和男議員



答

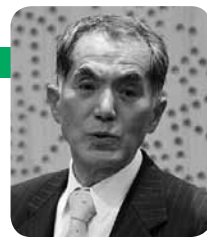
喜多方市長選挙の立候補予定者公開討論会においても述べており、後援会のSNSにおいても子育て支援に対する考えとして市民へ伝えているところである。
当初から公約として掲げている子育て支援と公共施設の整理統合の具体例として、図書館との複合施設が本市に必要であるという考えに立ち、改めて発言をしたところである。

問

就任記者会見時の、子どもの室内あそび場や図書館等の一体化した複合施設の整備に係る発言について、市長の公約には印刷印字されていないがどの様な事情で記者会見の内容となつたのか。

方市を創ってまいりたい。

市民に信頼される接遇を



遠藤 金美 議員



問 市長は、市職員に「何を望み、何を求めるのか」

答 市民に対し、公平・公正・誠実な対応、挨拶、表情、身だしなみ、言葉遣い、対応などから信頼される接遇を心掛ける。相手の話に丁寧に耳を傾け、期待に応えられることが重要である。

問 地域住民の強い願望である国道459号早期整備について、山都町蓬萊・上三宮町吉川区間の平成30年度の工事内容の見通しは。

答 堂山工区は、主に幅員狭小区間解消の工事の進捗を図る。藤沢工区は、峠分の切土工事を進める。見頃工区は、見頃側の急カーブ、急勾配箇所解消の工事に着手する予定である。

問 早期整備への働きかけを伺う。

答 国道459号整備促進期成同盟会及び会津総合開発協議会と共に県をはじめ、国土交通省、県選出国会議員等に整備促進、早期完成の要望をする。
※国道459号整備促進期成同盟会：福島県・新潟県の6市町村で構成し、会長は喜多方市長

問 ICT（情報通信技術）導入の鳥獣被害対策は。

答 捕獲従事者の見回り等の負担軽減や捕獲効率の向上に、鳥獣被害対策実施隊の意見を聞きながら検討をする。
※事例 ワナ監視通信システムや獣検知センサー（鳥獣監視通報装置）

わくわくする喜多方とは？教育問題と農業政策



小島 雄一 議員



問 子育て世代の為の具体策とスケジュールを伺う。

答 待機児童の問題は本年2施設が開園予定であり、平成31年4月に解消を目指す。乳幼児期の負担軽減は、国の段階的教育無償化を見ながら対応する。市として産後ケア支援事業を開始し、屋内遊び場を中心とした複合施設整備を進める。

問 本市小中学校の一人親世帯数と対策、家庭教育応援条例の考えを伺う。

答 小学校の一人親世帯は226世帯で全体の13・3%、中学校では180世帯で全体の15・8%、合計では14・3%となる。就学援助の件数は282件で全体の9.9%で約1割になる。家庭教育応援条例については、情報収集に努める。

問 農業政策の方向性を伺う。

答 生産調整については、本年より国に代わり県より生産数量の目安が配分された。これは以前の産地間調整を含んだ配分となっている。各種助成メニューは農林業ビジョンや、生産者代表の意見を踏まえて作成した。

問 農業委員会会長の抱負を伺う。

答 大きな過渡期にある農業政策の中、農地を守る使命と共に諸問題解決の為、全力を尽くす。



▲環境保全活動による伝統農法の伝承

このままでいいのか!!喜多方児童クラブ館



遠藤 吉正 議員



問 喜多方児童クラブ館の現状をどう捉えているのか。

答 喜多方児童クラブ館は平成12年度に、1年生から3年生の児童を受け入れることができる規模で開設。その後、利用者が増加したため平成19年度に増設をした。また、平成24年度からは4年生から6年生までの受け入れを開始した。

登録児童数は、国の実施状況調査基準日である5月1日現在で、平成27年度100名、平成28年度112名、平成29年度112名と、募集人員70名より多い申し込みとなっている。



▲手狭な喜多方児童クラブ館

問 市長は「最優先に取り組むべきは子育て支援である。」と発言しているが、今後、喜多方児童クラブ館の対応をどうするのか。

答 これまで、児童厚生施設として有効活用できる施設を探してきたが、なかなか合致する施設が見つからない。そのため、既存市有施設の有効活用に加え、現施設の増築または建設についても検討し、児童の良好な環境整備を図っていく。

学校給食における「熱塩加納方式」どのように全市に広げていくのか



渡部 一樹 議員



問 市長公約の一つである「学校給食における熱塩加納町の取組みを全市に広げていく」とのことだが、今後どのような考え方で進めていくのか。

答 現在、市内すべての学校給食調理施設において各地区ごとに地元農産物を活用した取組みを推進しており、本市産米の使用をはじめとする地元農産物の使用割合は、平成28年度実績で県内13市中1位と高い結果になっている。

その中で、熱塩加納町での学校給食は、栄養士、調理員、地元生産者の会との綿密な連携により、食数と生産供給のバランスが取れた体制となっており、地元農産物の使用割合は特に高いものとなっている。



▲学校給食

この熱塩加納町での取組みについては、食数と生産供給体制のバランスなど参考とするところが多くある。

今後、生産者の会やJA等との連携協力を得ながら、発注や生産供給体制などの課題を把握し、改善策を探りながら地元農産物の使用割合により一層の向上に努めていく。

危険箇所画像投稿システムの運用を



佐原 正秀 議員



問

従来の電話等による通報では特定が難しかった損傷の状況や位置が、スマートフォンなどによる写真添付や位置情報により、現場の状況などが正確に市に伝わり敏速な対応ができ、事故防止につながるものと考えるがどうか。

答

現場の写真のみならず位置情報も把握できることから、より敏速で正確な状況につながるともに、応急措置や使用禁止などの初期対応をいち早く実施することが可能となり、事故防止や危険箇所の拡大防止につながる有効な手段と思う。

問

利用者数の多いスマートフォンを活用することにより、私たちのまちをより快適に、より住みやすくするために、身近な

答

問題解決が図れると思うがどうか。
スマートフォン利用者の急速な拡大により、投稿システムはより多くの方の協力を得て課題解決が図られるものと認識しており、いろいろな対策が講じられる。

問

投稿者以外にも内容や対応状況をウェブサイトで確認することができ。また、地域の問題・課題の共有や透明性の向上が図られるため運用すべきだ。

答

投稿者以外でも内容の確認ができるアプリケーションもあることから課題の共有や透明性に有効であり実施すべきと考える。
※危険箇所発見通報(例) 穴ぼこ、側溝蓋の破損、ガードレール損傷、土砂崩れ、倒木、落石、公園・河川・公共施設などの不具合

予測される待機児童、第四保育所廃止は矛盾では？



矢吹 哲哉 議員



問

平成30年4月、10月の保育所等の待機児童の見込みは。

答

平成30年3月1日時点では、国の定義による待機児童は解消されたが、その後も随時申し込みを受け付けているので、4月1日、10月1日時点では何名になるかは、現時点では把握が困難である。

問

昨年10月では、待機児童は29名、潜在的待機児童は28名発生している。それなのに、第四保育所を3月31日で廃止するのは矛盾していないか。

答

待機児童解消については平成31年4月1日を目標にしており、第四保育所は予定通り廃止する。

問

これまでの答弁では申し込み状況等を検討し、廃止するかどうかを決定するとしていた。遠藤市長の公約では待機児童解消を掲げている。市長は、平成30年度中に待機児童が予測されるのに、この3月で第四保育所を廃止するのか。

答

行政は継続であり、その方針である。



市長の政治姿勢を問い、子育て支援の充実を求める



田中和加子 議員



問 憲法9条改憲についての市長の認識を伺う。

答 国会及び憲法審査会の場において、慎重かつ十分な審議がつくされるべきと考える。

問 市長は国に対し「原発ゼロ」「原発再稼働中止」を迫るべきと考えるが認識を伺う。

答 被災県の市長としては、原発再稼働には賛成できないと考えている。

問 市長の選挙公約である学校給食費の保護者負担の軽減を求める。

答 今後、実施方法、手順及び財源などについて検討を進める。

問 就学援助制度の充実を求める。

答 各学校の活動内容や公平性等の観点からの課題

と、他市の導入状況などを踏まえて研究する。

問 小中学校の普通教室にエアコンを設置することを求める。

答 扇風機の利用とこまめな給水により、子どもたちの体調管理や健康管理に努めている。老朽化した学校施設の大規模改修について検討する中で、将来の財政負担を考慮しながら検討する。

問 市営住宅入居要件の緩和を求める。

答 2名の連帯保証人が必要な入居要件は、今後も従来通り運用する。

問 喜多方市の生活保護率はいくらか伺う。

答 平成30年1月1日現在の市全体の保護率は、人口1000人当たり8.4人で、県平均より低い割合である。

学校は全ての子どもの居場所に



齋藤 仁一 議員



問 喜多方市教育振興基本計画第4章基本目標では「全ての子どもの『生きる力』を育む」となっているが、今年度の全国学力テスト等の結果から『生きる力』の指標はどうなったのか。また、目標値に向けた取り組みをどうするのか。

答 指標「自分には良い所がある」小学校では、昨年比大幅向上したが中間年次の目標値50%には達していない。また、中学校では前年度並みで目標値50%には達していない。

今後児童生徒の生きる力を育んでいくために、教師による児童生徒の承認、称賛、励ましを継続し、互いの良さに気づき合う学び合いの充実に努め自己肯定感や自己効力感を高めていく。また、

体験活動やボランティア活動、キャリア教育の充実により自己有用感を高め、夢や目標が持てる児童生徒を育成していく。

問 子どもの家庭環境や経済状況がどうであつても、学校に来れば子ども一人ひとりの居場所がある、そのような教育環境の整備が行政の果たすべき役割だと考えるがどうか。

答 その通りである。さらにそのことを拡充していく必要がある、そのため教員の資質向上とそれぞれの家庭そして地域との連携を図っていく。

早急な企業誘致戦略策定を



上野 利一郎 議員



問 共同アンケートによる調査の実施結果は。

答 日本立地センターに調査を委託しているアンケート結果では、5社が喜多方綾金工業団地に関心を示しており、ヒアリングを行ったところ、関東地区の機械器具製造業2社が特に関心を示している。現在、市が直接これらの企業に訪問するため、コンタクトをとっている。

問 企業誘致戦略計画は、いつ示されるのか。

答 企業誘致戦略計画については、日本立地センターに委託しており、地域経済等構造の分析、企業立地の動向や、福島県や本市を含む会津地域の立地環境、立地施策などについて整理を行い、喜多方綾金工業団地への誘致

対象の検討を行っている。

昨年9月に、中間報告を受け、本市工業団地の優位性に基づく効果的な企業誘致の方法や具体的な方向性について、概ねまとまったが、その後分譲価格が決定したことや、9月以降の経済情勢や企業立地の動向、雇用情勢などについて、現在最終的な調整を行っているところであり、3月下旬の完了を見込んでいる。



第一工区の造成が開始された
喜多方綾金工業団地

短期的政策としてMICE推進を



江花 圭司 議員



問

休日の中心市街地の流動人口は朝方から増加して午前10時をピークに、午後2時頃から減少傾向に転じてしまう。交流人口を増加させるMICE（研究大会、教育旅行、地区会議、見本市展示会等のビジネス交流）推進への見解を伺う。

答

マイスについては、会場設営から機材や備品、警備、移動交通、食事、宿泊等多岐にわたる対個人サービスによる波及効果が見込めることから一施策として推進したいが、受入施設の充実と整備などが課題と考える。

問

耐用年数を迎えている厚生会館や勤労青少年ホーム、図書館などを複合施設として子育て世代交流拠点づくりの庁内会議でも検討してほしい。

答

耐用年数を迎えている施設に関しても市有公共施設等総合管理計画において、複合的な施設と併せて検討していく。



障がい者支援の充実を！



菊地とも子議員



問

障がい者相談窓口の設置が必要と考えるが伺う。

答

現在、市内の相談支援事業所1か所に相談業務を委託し、障がいのある方の様々な課題の相談に応じ、必要な情報の提供を行っているが、近年は相談件数が年々増加傾向にあり、さらに困難ケース対応も増加していることから、新たに市担当課に相談窓口を設置し、相談体制の充実に努める。

問

ヘルプマーク・ヘルプカードの導入について伺う。

答

外見では分かりにくい内部障がいのある方等が、周囲に意思表示するための有効な手段であり、さらには、障がいのある方への理解を深める効果があると考えてい



問

健診時の保健師の見立てを補助する医療機器「社会性発達評価装置」通称「かおテレビ」の導入を伺う。

答

現在市で実施している発達障害の早期発見の取り組みについて、それを補助する医療機器の導入の必要性や有効性について、医師会の意見等も伺いながら調査研究して参る。

る。導入にあたっては、一部の自治体のみでなく広域的に取り組むことが重要と考えており、県全体で取り組むよう働きかけをする。

トイレの洋式化を早急に！



小林 時夫議員



問

小中学校のトイレの洋式化について、全体としての洋式トイレの個数はトイレ改修前と比較してのくらい増加したのか、設置率はどのくらいなのか、また、今後のトイレの洋式化についてはどのような考えなのか。

答

各学校のトイレの現状については、平成28年度から平成29年度の2力年にわたり、小・中学校校舎のトイレを一部洋式化するトイレ改修事業に取り組んでおり、小・中学校併せて68個の洋式トイレを設置したところである。改修前に比べると小学校全体で49個、中学校全体で19個の洋式トイレが増加しており、洋式トイレの設置率は、小学校全体では15・7％から29・2％に、中学校全体では14・8％から26％

になった。

今後のトイレの洋式化については、基本的には校舎全体の大規模改修の中で取り組む考えであるが、第一中学校については、トイレ全体の老朽化が特に著しく、臭気や排水等に大きな問題があることから、平成29年度の国の補正予算による交付金を活用し、平成30年度に繰り越してトイレ全体の改修工事を実施し、その改修工事の中で洋式トイレや多機能トイレを設置する。



高齢化社会における諸課題と対応を求める



長澤 勝幸 議員



問

高齢者を取りまく環境は全国的に深刻さを増し、本市でも避けられない地域課題である。

新市長として本市の高齢者の現状・課題をどう認識しているのか。

答

人口減少とともに高齢化が進行し、認知症・単独世帯・夫婦のみの世帯の増加が予測される。本市の65歳以上の高齢化率は35・8%、75歳以上の後期高齢者率が20・7%と県内13市の中で一番高い割合にある。

よって、個々の状態に応じ、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的かつ継続的に提供される体制を構築し拡充することが課題である。

問

第7期介護保険事業計画での地域で支える生活支援サービス体制の基盤整備をどう構築するのか。

答

介護保険事業計画では、高齢者が安心して在宅で生活できる介護予防・生活支援の基盤を整備し、公的な福祉サービスと地域で支え合う「地域共生社会」の実現を目指す。

そのために、生活支援の担い手となるNPO法人や民間企業、ボランティアなどの育成を図るとともに、身近な町内会・行政区による支え合いが重要であり、取り組みを進める。



登山道の整備を！どうする市民憲章！

問

現在までの進捗状況はどの様になっているのか。

答

自治基本条例と市民憲章について、重なる部分があり、その調整など、今しばらく時間を頂きたい。

問

今後制定に向けての日程はどの様になるのか。

答

調整が整い次第、日程について判断をしていく。

問

飯豊山の登山道について、市としての考え方は。

答

豊かな自然に恵まれ、信仰の山、霊峰飯豊山は市のシンボルであり豊かな自然を後世に守り伝えるために登山道の維持管理に努めていく。



齋藤勲一郎 議員



問

飯豊山山頂、玄山道周辺の保全、修復、登山道の整備をどうするのか。

答

環境省、福島県、飯豊連峰保全連絡会との連携を密にし保全整備に努めていく。



▲飯豊山

人口減少対策と住民自治の主観は？



渡部 勇一議員



問

新市長の考える人口減少対策と、その効果や目標設定を伺う。

答

待機児童の解消や育児負担軽減などの子育て支援、新工業団地における企業誘致や6次産業化による雇用創出と産業振興、交流人口の拡大や移住、定住者の受入れ環境の整備など、取り組む効果については、子育て支援の充実により子育てに対する不安や負担感の軽減を図ること、出生数の増加につながることに、企業誘致や産業振興により、雇用と所得の向上を実現することで、若い世代の定住と市外への流出防止につながるものと考えている。

目標については、人口ビジョンに掲げた2040年の将来展望人口において3万7000人以上

問

新市長は、公約で住民自治の推進を掲げていたが、新市長の考える住民自治とは、どのようなものか伺う。

答

市民による地域での主体的な活動に対する相談や補助金による支援等を継続するとともに、他の自治体における住民自治の事例について調査検討を行う。また市民の意見を調査することによる地域の実情把握に努めるとともに、自治基本条例を基本とした施策を展開し、市民が主体となった協働のまちづくりを推進していく。

一般質問

児童福祉の迅速な推進を！



関本美樹子議員



問

夜間における子供の、急を要する病気の対応には？

答

市全体の課題でもある小児を中心とした夜間の初期救急体制を整えるためには、診療体制の充実、医師の増員が不可欠である。

問

地域・家庭医療センター「ほつと☆きらり」における医師の確保に努めるとともに、喜多方医師会を交えた協議の中で体制整備の検討を実施していく。

答

冬場における通学路の確保は早急に！

冬場の通学路の確保については学校などからの情報により、除雪の必要がある場合には、教育委員会から担当部署に対応を依頼している。

また、安全な通学路確保

保のため、定期的に「通学路安全推進会議」を開催している。

その会議には、警察署はじめ県喜多方建設事務所、建設課、生活防災課、校長会、PTA連絡協議会、教育委員会の各関係機関が出席している。今後とも、それらの情報共有を図りながら、除雪の対応も含め、より安全な通学路の確保に努めていく。



問

新年度における戊辰150周年記念事業を市はどのように考えるか。

答

瓜生岩子刀自に関する講演会等においても戊辰戦争との関わり合いの中で紹介をしている。新たに市史セミナーにおいては、戊辰戦争と本市との歴史的な関わりについて取り上げる予定でいる。

フットワークの良い地域密着型の除雪支援を！



坂内 鉄次議員



問

高齢者等世帯への除雪支援は、実状として一斉の降雪に順番待ちなどタイムリーな対応に支障が出ていることから、フットワークの良い地域密着型の支援体制の充実を図る必要があると思われるが伺う。

答

高齢者等世帯の除雪対策は、重点課題の一つである。除雪支援を行っていただいている建設関係の事業者の中には除雪作業に出動しなければならぬ事業所もあり、除雪依頼があってもすぐに対応できない場合もある。その点、行政区単位等で構成される地域密着型の団体であれば地域の状況にも明るく、除雪依頼にも、よりスピーディーに対応できると思われることから、これら団体の育成を図ってまいりたい。



問

他自治体で導入している地域ぐるみボランティアやスノーバスターズの組織化等、新たなより効果的な支援体制の検討が必要と思われるが伺う。

答

より効果的な支援体制を構築するために、他自治体で実施されている「地域ぐるみボランティア」や「スノーバスターズ」などの取り組みも参考にしながら、除雪の受け皿となりうる、地域密着型の団体育成や、ボランティア活動の充実を図り、より良い除雪支援体制の構築が図られるよう努めてまいりたい。

新市長は、住民自治、経済活性化をどう進める



渡部 孝雄議員



問

「住み慣れた地域で暮らし続ける」ための住民自治の実現を。

国の地方創生施策、先進地事例を基としてつつ、市街地では都市機能、住宅の誘導により、中心部の空洞化に対処したコンパクトシティおよびネットワークづくりを、中山間地では「地域運営組織」をもった小学校区単位のいわゆる「小さな拠点」により地域生活を支えていく人口減少・過疎化への対処を、この2つの政策を一体的同時並行的に、合併後の都市計画を見直す中で実現することを求める。

答

平成31年度までに策定する立地適正化計画では、現状の都市構造上の課題を解決し、持続可能な街づくりを進めることを目的とし、農村集落を

問

含めた市全体の整合性のとれた計画を目指す。小さな拠点については、国の施策を早急に検討する。

答

「地域内循環による経済活性化」のための「域内調達率向上の仕組みづくり」を。
公共工事、物品調達、委託事業の地域内発注のための調達先の制度的な育成および経済の地域内循環による付加価値拡大すなわち所得向上を目指す企業連携の推進、域内調達市場の設置を求める。
公共調達においては、原則として市内業者に発注している。民間においても企業間の連携など経済循環が生まれている。

地区集会所のトイレの水洗化・洋式化を急げ！



田中 雅人議員



問

超高齢化社会に伴い生活環境の整備、特にトイレの水洗化・洋式化は重要である。全市の集会所の現状はどうか、施設の水洗化率、洋式化率を問う。

答

地区所有集会所は、喜多方地区は105施設、熱塩加納地区は9施設、塩川地区は51施設、山都地区は10施設、高郷地区はすべて市の所有で地区所有はない。合計175施設のうち4施設にはトイレがない。

地区所有集会所の洋式化率は喜多方地区が41%、熱塩加納地区が87%、塩川地区は32%、山都地区は10%となっている。合計で水洗化率は57%、洋式化率は39%である。市内小中学校舎のトイレはすべて水洗だが、洋式化率は小学校で29%、

問

中学校で26%、小中学校全体では28%である。市内全域の一般住宅の水洗化率は昨年3月31日現在で87・8%である。トイレ改修の際は集会施設整備事業補助金の活用を願う。

答

磐梯山火山ハザードマップは、塩川住民にどの様に周知されているか？ 融雪型火山泥流による被害の恐れある、塩川住民にを対象に1月29日にふるさと会館で説明会を開催した。すべての市民に防災マップの周知を図り災害に強いまちづくりを目指す。さらに小中学生にも情報を提供すべく検討する。

遠藤市長の公約の実現性を問う



五十嵐吉也議員



問

イベントや庁内に就職相談窓口設置等で人口減少の抑制はできなかった。災害の少ない立地条件を前に出して取り組むべきと思うが、いかがか。災害に強い環境を活かした企業誘致を進め、若者の定住化を図る。

問

イベントや雁木を外す等のインフラ整備で活性化されたか。コンビニ、スーパー、量販店の存在する中での対策は何か。

答

イベント・空き店舗活用、アーケードを外し、インフラ整備を進めてきた。これを踏まえて活性化を展開する。

問

限りある財源の有効活用を図るには、身を切る行政改革が求められる。議会承認特例における公有地の無料貸し付けや受益者負担の立場から公共施設使用料の有料化を進めること。職員の寒冷地手当の廃止。これなどは、国は支給対象を縮小し、民間は廃止している。コンピュータ事務委託料等々業務の見直しを行うべきである。いかがか。

答

総合計画に沿って、今後行政改革推進委員会に諮り推進する。公有地売却により自主財源を確保する。使用料や職員手当支給は条例によって徴収及び支給している。

ワクワクする複合施設を、市民皆様と考えよう！



渡部 信夫 議員



問

図書館、厚生会館、勤労青少年ホームはいずれも40年以上も経過し、老朽化が進んでいる。現在検討されている屋内子供遊び場を中心とする子育て支援施設も含めた複合施設整備事業は、市民の関心も高い重要政策と捉えている。

答

新市長はワクワクするまちづくりを標榜されており、市民が集い、夢を語りながら、複合施設の青写真をワクワクしながら描いていく、そんな心躍る取り組みも視野に、今後、どのように進めていく考えか。

屋内型子育て支援施設や看護・介護人材育成拠点の検討を行っている。質問の3施設の複合化も考えられるところで、市民説明会やワークショップを通じて市民のご意見

問

民間団体や、商業施設なども入居可能な施設として、市民が常態的に訪れる施設にしたいかがか。

答

公的施設の他に民間利用や教育機関など、施設の共用について今後検討してまいりたい。



▲会津若松市の複合施設「会津稽古堂」

入田付上水道の進捗状況は？

問

入田付上水道の進捗状況について伺う。

答

これまでの工事の進捗状況給水開始時期の見直しは第1期工事として平成30年度までに二軒在家地区を給水開始平成31年に完了予定であったが、事業が順調に進捗し二軒在家地区の配水管布設工事完了し平成29年12月に給水開始しており平成30年度に舗装復旧工事を施工する予定である。

問

入田付上水道未整備地区工事について問題点はないか、冬季間の工事施工により品質確保や施工期間等で問題は生じていないか伺う。

答

冬季間の工事施工により、受注業者との協議や現場における段階確認等の監督業務を行い、品質確保に努めているところ



佐藤 忠孝 議員



問

今後の年度ごとの計画について伺う。

答

平成30年度は配水池工事と二軒在家地区舗装工事を、平成31年度は2カ所のポンプ場の建設を、平成32年度から平成34年度には平沢地区・治里地区送配水管を布設する予定である。



▲入田付上水道・送配水管布設工事

請願と陳情の審査

市民の皆さんから提出された請願・陳情は付託された各委員会での次のとおり審査されました。

請願第1

憲法第九条を変更しないことを求める意見書提出の請願

継続審査※（総務常任委員会）

※継続審査とは

付託を受けた委員会が閉会中に引き続き審査を行うこと。

請願第2

国へ生活保護基準の引下げの中止を求める意見書提出の請願

反対

今回の改正により本市に討論においては有利な家庭が増えることからこの請願については反対する。

賛成

健康で文化的な生活水準を保障することに逆行する観点からこの請願については賛成する。

賛成少数により不採択

（文教厚生常任委員会）

請願第3

生活保護世帯の子どもたちの大学等への進学に関する意見書提出の請願

委員会

大学等に進学する子どもの意見をも「世帯分離」して生活保護から外す運用を改めて「世帯内就学」を認めるとともに、当該子どもの生活保護費を支給し、就学に必要な費用については、収入として認定しない取扱いをすること。

全会一致で採択

（文教厚生常任委員会）

請願第4

拙速な「TPP11」の承認に反対する意見書提出の請願

委員会

農業を基幹産業としており、本市とすれば、しっかりとした対策を市民や農家の皆様に示していかなければ、ならない。特に若い方は不安が大きいと思うので、市としての対策を講じるべきである。

全会一致で採択

（産業建設常任委員会）

請願第5

労働者の声を踏まえた真の「働き方改革」の実現を求める意見書提出の請願

市

国での働き方改革の議論の中で、国会において裁量労働制の審議のもととなる労働時間のデータが不適正であったため、その案を切り離し、制度設計をし直すことになっているので、この請願書の内容自体に前提が崩れている部分があり、見解・説明ともに控える。

全会一致で採択

（産業建設常任委員会）

請願第6

福島県の最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の請願

市

最低賃金の決定は請願書説明に記載のとおり、中央最低賃金審議会から示される「目安額」を参考に、各都道府県の最低賃金審議会において、地域の実情を踏まえた審議・答申を得た後、都道府県労働局長により決定される。

全会一致で採択

（産業建設常任委員会）

陳情第1

待機児童解消、保育士等の処遇改善のための税源確保を求める意見書提出の請願

委員会

国として認可保育所の意見整備計画を立て、必要な財源の確保をするともに、保育士等の職員の配置基準、賃金の引上げなど処遇改善のための必要な財源の確保をすること。

全会一致で採択

（文教厚生常任委員会）



採択された「請願・陳情」は、市議会の意向を意見書にまとめ、国や関係機関へ送付し、その実現を要望します。

3月定例会で提案された議案等の審議結果

意見が分かれたもの

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。
これ以外の案件などは、全会一致で可決されています。

すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。

喜多方市議会 検索

議案等名		議員名	議決 結果	賛 成	反 対	田 中 和 加 子	矢 吹 哲 哉	小 島 雄 一	関 本 美 樹 子	江 花 圭 司	渡 部 信 夫	上 野 利 一 郎	遠 藤 吉 正	渡 部 一 樹	後 藤 誠 司	菊 地 と も 子	小 林 時 夫	長 澤 勝 幸	坂 内 鉄 次	渡 部 勇 一	齋 藤 仁 一	田 中 雅 人	遠 藤 金 美	渡 部 孝 雄	五十嵐吉也	大川原謙一	齋藤勘一郎	佐藤忠孝	佐原正秀	山口和男		
議案 第11号	平成30年度喜多方市一般会計 予算	原案可決	22: 2	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第12号	平成30年度喜多方市国民健康 保険事業特別会計予算	原案可決	22: 2	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第13号	平成30年度喜多方市後期高齢 者医療事業特別会計予算	原案可決	21: 3	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第14号	平成30年度喜多方市介護保険 事業特別会計予算	原案可決	21: 3	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第41号	喜多方市保育所条例の一部を改 正する条例	原案可決	22: 2	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第47号	喜多方市介護保険条例の一部を 改正する条例	原案可決	21: 3	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第61号	喜多方市立小中学校適正規模適 正配置審議会条例	原案可決	15: 9	●	●	●	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
請願 第2	国へ生活保護基準の引下げの中 止を求める意見書提出の請願	不採択	10:14	○	○	●	-	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対、一は欠席 議長（佐藤一栄）は採決に加わらない。

人事

全会一致で任命することに同意しました。

駒形財産区管理会財産区管理委員

鈴木 修（上窪）
鈴木 一勢神（紙子）
斎藤 秀一（東常世）
芳賀 耕平（中屋敷）
武蔵 大（三橋）
穴澤 正人（西常世）
須田 和良（深沢）

臨時議会（2月22日開催）では次のとおり、全会一致で任命することに同意しました。

教育長

大場 健哉（塩川町）

教育委員会委員

高橋 明子（山都町）
荒明 美恵子（高郷町）

監査委員

遠藤 英昭（熱塩加納町）

固定資産評価審査委員会委員

中川 正一郎（熱塩加納町）
花見 厚（塩川町）
結城 兼夫（喜多方地区）

※敬称略

審議結果

選挙

指名推選により、次のとおり決定しました。

選挙管理委員

大島 洋一（熊倉町）
菊地 孝（関柴町）
野口富士夫（塩川町）
伊藤 尊仁（高郷町）

選挙管理委員補充員

真部 政司（山都町）
渡部 三治（熱塩加納町）
小島 治一（塩川町）
富山 勝美（岩月町）

※敬称略

きたかた FM 議会中継
78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。
開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

表紙の写真

かわいい春を見つけたよ

新年度を迎えてフレッシュな新任の保育士さんと、園児とのふれあいです。自分が園児の時に影響を受けた保育士さんのように素敵な保育士さんになって、次世代の園児の目標となる社会人になってほしいと願うばかりです。

少しでも園児と接する時間がほしいと、保育園の近隣に引っ越しを予定するなど、園児との遊びを通して人と人とのコミュニケーションを大切に考えている新社会人と出会いました。

塩川のびやか保育園の園児と佐竹莉奈さんさ た け り な（2ページ特集でご覧ください。）

広い園庭で、保育士の皆さんが優しく見守る中、元気に活動する園児たちの楽しそうな声を聞いているだけで、心が和みます。

塩川のびやか保育園では、年間を通して散歩や園外活動を行い、四季折々の自然にふれながら、子ども達が心身共に健やかに過ごす保育を実践されています。

保育士は子どもが初めて家庭から社会へ踏み出すときの、重要な役割を担う、子どもにとっても、その家族にとっても、大きな存在です。待機児童の解決には、保育士のなり手不足の解消が不可欠です。

保育士や介護職員の処遇改善に当たっては、必要な財源が継続的・安定的に確保されないと、保育士や介護職員を希望する人が将来展望を持つことができず、結果として処遇改善の効果が制約されかねないという問題があります。

市議会だよりでは、安定した保育環境の整備や若者の就労支援をはじめ、魅力あるまちづくりを目指して、今年度も市民の皆様の負託により一層応えるべく、議会情報を発信してまいります。市民の皆様のご意見をお待ちしています。

喜多方の染型……喜多方で作られた染型紙を「会津型」といい、江戸時代から昭和の初めまで東北一円の染屋に販売されていました。（県有形民俗文化財指定）

編集後記

農家の皆様には春の農作業の最盛期かと存じます。農作業事故にはくれぐれもご注意ください。お励みいただければと思います。

先日行われた議会広報に関する抽出アンケートでは、市議会だよりを毎号読む、ときどき読むを合わせると95%に達しました。我々編集委員としても大変勇気づけられる数字であります。今後も読みやすい紙面づくりに努めてまいりますので、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

後藤 誠司
議会広報編集委員会

委員長 上野利一郎
副委員長 小島 雄一
委員 遠藤 吉正
後藤 誠司
渡部 勇一
佐藤 忠孝

